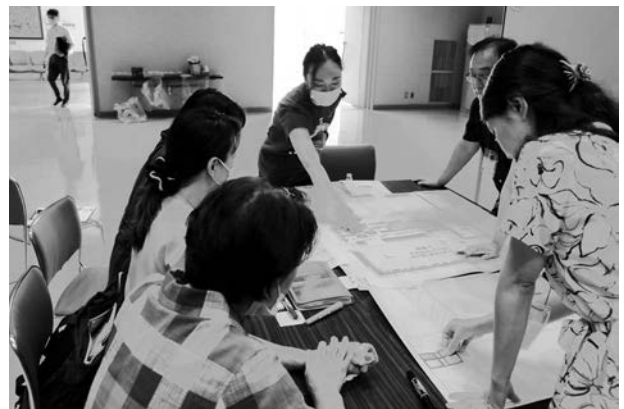


この研修で使用する避難所運営ゲームは、元々静岡県職員の職員が考案した机上の災害模擬カードゲームです。避難所に避難してくる住民を受け入れ、どのようにケアするかを考える内容で、非常にシンプルで効果的な災害模擬体験ゲームです。この避難所運営ゲームに冬の積雪や寒さをゲーム条件に入れた「Do はぐ」(HUG, Hinanjo Unei Gameの略)を静岡県の使用許諾を得て北海道が作成し、北海道危機対策課や各振興局で無償で借りることができます。私たちはさらに母子情報カードを増やした内容で、母子救護に焦点をあてた研修会をおこなっています。このような研修会を通じて、小児と妊産婦への救護の意識を高めることが、避難所での“減災”につながり、ひいては医療需要の減少につながる可能性があります。コロナ対策の経験からも明らかのように、どうしても小児、妊産婦は通常の枠組みからは外れがちであり、このことは災害でも同様だと思います。このような活動は産婦人科としての重要な活動だと考えています。

【浦河BLSO、災害時母子救護研修開催】

8月31日、9月1日に浦河町総合文化会館で

「BLSO (Basic Life Support in Obstetrics)」と「災害時母子救護研修」を開催しました。道内外からの講師が浦河町に集結し、BLSOでは病院前周産期救急のシミュレーション教育とチーム医療について、災害時母子救護研修では高知県の災害の取り組みや東京での災害時小児周産期リエゾンの取り組みの講演の後、避難所運営ゲームで母子救護の重要性について学びました。公的な施設ではクーラーの設置がなく、暑さが厳しい状況でしたが、役場、保健所、病院前救急、周産期の顔の見える関係づくりができて有意義な2日間となりました。会場や宿泊手配などは浦河町職員が担い、資金は浦河町、WIND(北海道大学産婦人科学教室)、HOPPIEクラウドファンディングで調達し、『地域住民の、地域住民による、地域住民のための』研修会となりました。住民の健康を守るための研修会が、一つの医療機関で主導するのではなく、住民、行政、医療機関が連携し共同で開催できたことは、まさに理想的な研修会でした。今回ご協力いただいた浦河町には深く御礼申し上げます。このような傾向が北海道内の他の地域にも広がることを強く期待しています。



災害時母子救護研修 浦河町, 2023年9月

「医師資格証」を持ちましょう

診療情報提供書等へのHPKI電子署名に対応しています



<問い合わせ先>

北海道医師会 事業第一課

TEL 011-231-7661

<http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/credential.html>

日本医師会電子認証センター

<http://www.jmaca.med.or.jp/>

『医師資格証』はHPKI(保健医療福祉分野公開鍵基盤)の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです